「皆」を「皆」で支える

県障がい者相談支援圏域サポーター 東濃基幹相談支援センター 代表

誠さん 藤木

東濃圏域サポー ターとして

目指しているものは

合い、 れからは、各々が強みを出 に対応できなくなります。 進む社会の中で、 全体を支えていくことが必要 がなかなか進んできませんで 性に特化しすぎて、協力体制 した。これでは少子高齢化が 持ち寄って、 今後の課題

それを広げていくことが大事

だと思います。

これまでの福祉とは、 専門

現状について 土岐市を含めた東濃圏域の

方で、 らす障がい者を支援する温か ていきたいですね。地域で暮 らしやすいまちを考えて作っ 障がいがあってもなくても暮 隔たりです。皆さんと一緒に 障がい者と社会との間にある い気持ちは感じられるので、 東濃圏域全体の支援のネッ 課題と感じているのは、-ク作りが進んでいる一

割は -基幹相談支援センターの役

1つは、

基幹相談支援セン

社会って随分よくなると思い

いをすることで優しくなると.

ボランティアセンターの紹介(心のふれあうまちづくりをめざして)

同センターでは、ボランティアを募集しています。ボランティア活動に参加してみませんか。点字、ガイドヘル

あなたの優しさ ちょっとした時間 求めている人がいます!

ボランティアセンターとは、市内でのボランティアをしたい人と、お願いしたい人をつなぐ場所です。

プなどのボランティア養成講座も開催しています。興味のある方は、気軽に問合せください。

ではなく、「皆」 「個」が「個」 られていることだと思います。 に圏域サポーターとして求め はいけない。これが今、 支える形を作っていかなくて になります で 「皆」 を支えるの 明確 を

げることが、地域共生社会のましょう」という気持ちを広

肝だと思います。

と思います。「お互いが少し感覚を共有することが重要だ

ずつ手を伸ばして一緒にやり

土岐市社会福祉協議会ボランティアセンター (☎⑤6661)

うに。そのために皆で「力と

集めようよ」っていう

気や障がいがある人にとって です。元気な人だけでなく病

仲間としてやっていきたい

行政に求めるものは

も暮らしやすいまちになるよ

皆が、

ほんの少しずつ気遣

支えることが、 す。「点」ではなく「面」 本来は社会全体であるべきで は相談支援員1 ですね。障がい者を支えるの がりを持てる体制を作ってお ターで相談支援員同士のネッ ことです。基幹相談支援セン かる相談支援員の孤立を防ぐ くことは、 て相談支援の「質」を上げる トワークを作り、誰かとつな こと。もう1つは、負荷のか のネットワー すごく大事なこと すごく大事だ 人だけでなく クを活用し ですね。 ろな働きかけをしていきたい に向けて、これからもいろい ても暮らしやすいまちの実現 めていかないといけないと思 化づくり」を、 ますね。そうした福祉の「文 ことがそこから始まると思い ます。「こうすればちょっと っています。障がい者にとっ まちになれたら、 い」を集めることで、優しい った少しずつの「かもしれな よくなるかもしれない」とい

一歩一歩すす

いろいろな

相談業務 基幹相談支援センターの役割

います。 地域生活支援拠点の整備 関と連携しながら、 関わらず、 総合的・専門的に対応するワ ない支援を提供しています。 者などからの相談に、 ンストップ相談窓口になって なってきている事例について

図っています。障がい者が安 居住支援のための機能強化を 見据えて、 化・高齢化や「親亡き後」を 環境を整えるものです。 心して地域で生活できるよう 東濃地域における

を設置しました。 市では、

との相談支援では対応困難と

これからの障がい者の重度

東濃基幹相談支援センター

市の新たな取り組み これまでの身体・

おり、

令和3年度からの開始

が中心となって整備を進めて

総合支援協議会への参加

障がい児者の総合支援のた

関係機関が対応策を検討

を目標としています。

がいがあってもなくても

しやすいまちづくりを目指

月3日から9日は障害者週

共同で東濃基幹相談支援セン 現状を踏まえて、 者のニーズが多様化している 達障がいおよび強度行動障が 神障がいに加えて、難病、 成31年4月に他の東濃4市と きています。こうした障がい いなどの新たな障がいが出て 難病、 知的·精 <u>\\ \\ \</u>

ます。

また、

平成30年度には

ら地域の課題解決に努めてい 関係機関との調整を図りなが 議会の事務局を務めており、

相談支援センターは、

この協

を設置しています。東濃基幹 する場として総合支援協議会

られるよう、

協議会に専門部

分野別・課題別に議論が深め

これまでの個々の事業所ご 障がい種別や年齢に あらゆる障がい児 切れ目の 関係機

\$50 60 2

窓口 果たしています。

会においても中心的な役割を

会)を立ち上げ、

この専門部

会(子ども部会・就労支援部

■県立はなの木苑指定相談支 援事業所 土岐市土岐津町土岐口

ホーリークロスセンタ 土岐市泉岩畑町3-2 **☎** 4 2 3 0 市内の基幹相談支援センター

2019.12.1 広報とき • 4 5 • 2019.12.1 広報とき